10,5,18 大毎

開會も見ずに中止

天王寺公會堂に於ける借家人同盟會の演説

數千の群集蠢く

十六日午後六時天王寺公會堂に於て借家人同盟會主催の示威運動會が開催されるといふので此日所轄天王寺署では本部と打合せをなして出内署長以下約五百名の私服制服巡査の應援を得て場内周圍を[illegible]の拔刀

目もない嚴しい警戒振りを見せた府刑事課よりは田口課長は池田警部以下部下を從へて警戒をした群衆は公會堂前には早くも二千名の群衆は開會を待つてゐる。所が開會前突如として同會幹部は比嘉(?)[illegible]の天王寺署で檢束され當日の辯士は主謀の大杉、鷹止の諸氏と共に檢束されたので公會堂の開會は止めとなつたが中々開散されさうもないので公

會堂主事から「主催者が居なければ貸す訳には出來ん」と交渉し遂に十時群集の頭の上に
『辯士諸氏の都合により[illegible]演

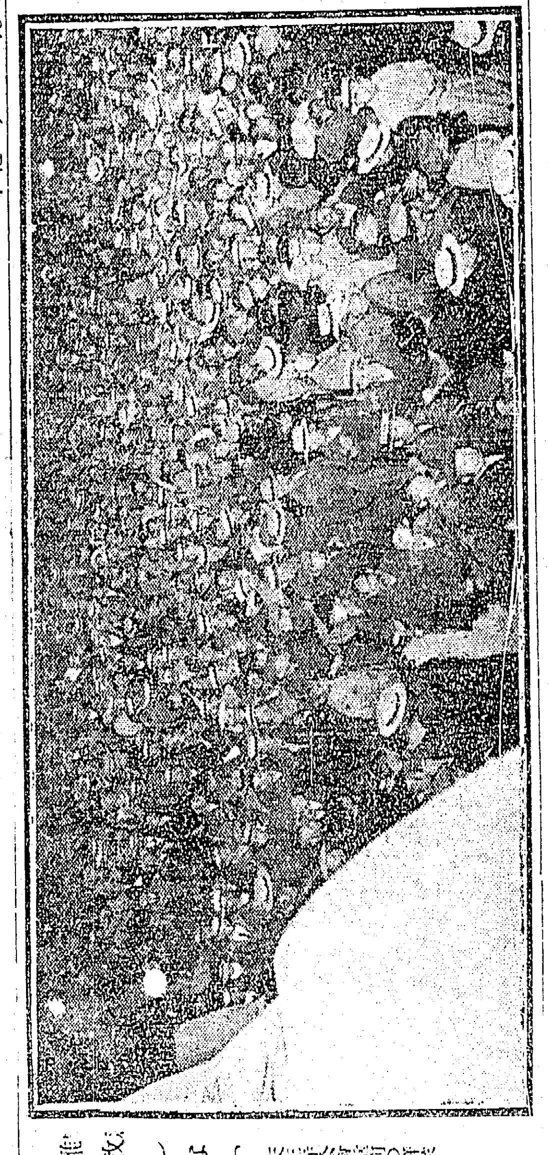
說は遺憾ながら中止す』
この掲示をなして中止を發表したが此の演說の後友愛會の演説あるので群集は中々に離散せず仕様ともせず所へ友愛會主事西尾氏は進み出て
『友愛會職工組合の方々は我々の目的が漸次は好に向ひつゝあるので今日は示威運動は許りませんから靜かに引取つて下さい』
と語り、無茶苦茶に群集に向つて解散を勸めたが何うしても動かうともせなかつたが警戒の警官達に追ひ廻され漸く公會堂を[illegible]に解散はせなかつた。

消燈した宮崎社長宅

萬一を慮つて警戒物々し

大阪の爭議の其中心人物である宮崎大阪電燈社長の身邊が危いとの噂が流布され昨十五日彼の安治川發電所前の大爭議以來十六日夜に至つて宮崎社長の天王寺茶臼山の自宅を包圍する等の陰謀ありとの所轄署は萬一の爲に同氏宅の附近を私服巡査が嚴重に警戒をした同氏宅では早くも表札を取り外され、門燈の火を消して家内はシンとして靜まり返つてゐたが時に電業員組合、並に友愛會員の二三は同氏宅の附近を徘徊し離散した公會堂の幾多の群衆の足は直ちに動かんとするので警官は天王寺公園東西の出口を物々しく警戒をした、然るに一旦公會堂前を離散した群衆は公園東口の出口に集まつて喚聲を揚げて彼方此方に警官と群衆との間に小競合があつたが中部

噬(?)に離職中の朝日新聞(?)衛門氏は十六日朝京都市會議員其他の名士職を辭するも同時に京大相撲協會の年寄を辭せず未だ文大相撲協會しただ幼年の爲め同氏の後援者(?)中村氏は後見役となつた(京都電話)



離散しない天王寺公會堂前の群衆